

授業科目	*キリスト教保育				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	東 彩子										
授業概要	キリスト教に基づく保育とは、「子ども」を神の国の中心ととらえるイエスの視点により施されるものである。本講義では、聖書の視点に立ち、子どもは大人の所有物ではなく、神から授かった命そのものであることの確認と、子どもの命に寄り添う生き方を学生自らが問い問われる体験的な演習を行う。										
授業形態	講義、演習			授業方法	講義の他、グループワーク・プレゼンテーションを行い、さらに演劇の手法を取り入れ「子どものための聖書の劇」を製作・演出し、キリスト教保育の源泉に触れる。						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>イエス・キリストの「子ども」理解について学び、子どもの視点に立って行われる礼拝について知り、聖書の劇制作においては、グループでの劇制作と聖書理解を同時に深めることができる。</p> <p>1. キリスト教保育の思想と歴史を知り、キリスト教保育の諸行事について説明できる。</p> <p>2. イエス・キリストの「子ども」理解を基に、世界や日本の「子ども」を取り巻く諸問題について考察できる。</p> <p>3. 子どもの礼拝について学び、聖書の劇制作の実践を通し、キリスト教保育の価値観を体験することができる。</p>										
理想的レベル	イエス・キリストの「子ども」理解を基に、現代の「子ども」を取り巻く諸問題について考察し、世界の子どもたちの調べ学習や聖書の劇制作について、積極的に取り組むことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験											
小テスト											
レポート	10%			まとめのレポート							
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%			「世界の子どもたち」、「聖書の劇」							
レポート外の提出物	60%			クラスポートフォリオ、チャペルの感想							
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH11322J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
予習：グループごとに、プレゼンテーションのための準備を行う。										4	
復習：授業やチャペルで取り上げられた聖書の箇所やレジュメを再読し、感想をまとめる。											
授業計画											
第1回	「キリスト教保育」の役割 キリスト教保育の歴史と思想の概要を学び、										

	キリスト教保育が現代の日本社会において担う役割について理解を深める。
第2回	「キリスト教保育」と行事 キリスト教保育における主要な行事の概要を知り、 それぞれの行事の意義について理解を深める。
第3回	「キリスト教保育」と礼拝①祈り 子どもの礼拝の意味と内容を知り、祈りについて理解を深める。
第4回	「キリスト教保育」と礼拝②聖話と賛美 子どもの礼拝における聖話と賛美の役割について理解を深め、 様々な聖話や賛美の実践に触れる。
第5回	テーマ：聖書の視点から知る「世界のこども」① 子どもの権利条約の内容について理解を深め、 子どもたちの命を大切に生きたマザー・テレサの生涯について学ぶ。
第6回	聖書の視点から知る「世界のこども」② グループごとに、世界各国のこどもたちが置かれている状況と、 支援の現況について調べる。(飢餓、戦争、独裁政権下、難民のこどもたち)
第7回	聖書の視点から知る「世界のこども」③ グループごとに、世界各国のこどもたちが置かれている状況と、 支援の現況について調べ、発表の準備を行う。
第8回	聖書の視点から知る「世界のこども」④ グループごとに、世界各国のこどもたちが置かれている状況と、 支援の現況について調べ、発表のリハーサルを行う。
第9回	聖書の視点から知る「世界のこども」⑤プレゼンテーション 世界各国のこどもたちが置かれている状況と、 支援の現況について調べたこと、考えたことを発表する。
第10回	聖書の劇① 聖書を土台とした劇(神秘劇)の歴史と現代の取り組みについて学び、 キリスト教園における子ども劇の目的と使命、 また、シナリオ作成と演出方法について導入の学びを行う。
第11回	聖書の劇② グループごとに物語のテーマを決め、配役・演出・効果を検証しつつ、 聖書の物語を土台としたシナリオを作成する。
第12回	聖書の劇③ 聖書の物語解釈、時代背景、役柄を研究し、

	子どもにわかりやすい演技や効果を検討、実践する。
第13回	聖書の劇④ 聖書の物語理解、時代背景、役柄を研究し、 子どもにわかりやすい演技や効果を検討、リハーサルを行う。
第14回	聖書の劇⑤劇の発表 聖書の劇の発表を通して、キリスト教保育の本質と目的について理解を深める。
第15回	全体のまとめ 「キリスト教保育」の学びの総括と、クラス内レポート記述を行う。
テキスト	『聖書』（新共同訳）日本聖書協会 『新 子どもと行事』キリスト教保育連盟
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	『新 キリスト教保育指針』キリスト教保育連盟 『神さまのおはなしきかせて』日本キリスト教団出版局 その他、紙芝居や絵本を授業中に紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	ポートフォリオは毎回回収し、翌週に返却する。 レポートは採点后、返却する。 プレゼンテーションは、グループごとに評価を伝える。
学生へのメッセージ・コメント	キリスト教学Ⅰで学んだ内容を基に発展的な学びを行うため、復習しておくこと。 実習での学びと照らし合わせながら、聖書の視点で子どもを捉える意義を共に考えていきましょう。 また、世界の子どもたちが置かれている状況を調べ、何ができるかを共に考えていくため、日頃からニュースに触れるなど視野を広げておきましょう。